

2026 年 1 月 5 日

【新年のごあいさつ】

日本電気泳動学会会員の皆様

新年、明けましておめでとうございます。

本年も皆様のご健勝と研究のご発展を心よりお祈り申し上げます。

近年の情報技術の飛躍的な進歩は、学術誌を取り巻く環境に大きな変化をもたらしています。本学会におきましても、昨年は内閣府の「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」への対応や、AI 利用に関わる著作権管理への対応として、著作権ポリシーおよび投稿規定の改定を行いました。本年からは、これらの新しい規定・ポリシーに基づいた学会誌の発行が始まります。また昨年は、誌名を「電気泳動」と改訂してから 10 年という節目の年を迎えました。これを記念し、過去 10 年間に掲載された論文の中から特定のテーマに焦点を当てた論文をまとめたバーチャル特集号を発行いたしました。今後も会員の皆様のご要望に応じ、このような企画を継続して進めてまいります。

学術集会につきましては、東京大学大学院の小松徹先生を世話人として第 75 回日本電気泳動学会シンポジウム「電気泳動、温故知新」を、また愛媛大学大学院の島崎洋次先生を大会長として、10 月 25 日～26 日に第 76 回日本電気泳動学会学術大会「電気泳動を基軸とする科学・医療技術への新展開」を開催いたしました。いずれも単一会場での開催であり、すべての参加者が一堂に会して活発な議論と交流を深めることができる大変に実り多い学会となりました。

本年は、6 月 13 日（土）に木村鮎子先生（群馬パース大学）および片山将一先生（前橋工科大学）を世話人として、第 76 回日本電気泳動学会シンポジウム「病態解析の新しい視点—基礎研究と検査が拓く臨床への展開」を群馬パース大学にて開催いたします。新技術の紹介から臨床検査に至るまで幅広い内容を企画して多くの皆様のご参加をお待ちしております。また、第 77 回日本電気泳動学会学術大会は、麻布大学の曾川一幸先生を大会長として、9 月 17 日（木）～18 日（金）に麻布大学百周年記念ホールにて開催されます。首都圏での開催となりますので、多くの方にご参加いただけるものと期待しております。ぜひご予約の確保をお願い申し上げます。さらに、昨年より井本真由美先生を世話人として開始いたしました日本電気泳動学会と特定非営利活動法人筑波臨床化学セミナー会（Tsukuba

Seminar for Clinical Chemistry : TSCC) との合同 Web 勉強会につきましても、引き続き継続してまいりたいと考えております。

これからも本学会の伝統を大切に継承しつつ、より一層魅力ある学会へと発展させるべく努めてまいる所存です。本学会メール通信につきましても、事務局からの発信に加え、会員の皆様からのご意見やご寄稿を積極的に掲載していきたいと存じます。ご投稿は事務局 (secretariat@jes1950.jp) までお寄せください。

本年も皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本電気泳動学会  
会長 亀山 昭彦



---

日本電気泳動学会企業会員

コスモ・バイオ（株）	ナカライテスク（株）	（株）ナード研究所
日本エイドー（株）	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)	（株）ヘレナ研究所
富士フイルム和光純薬（株）	(株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン	

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局（[secretariat@jes1950.jp](mailto:secretariat@jes1950.jp)）宛にお願いいたします。